

JTB 交流創造賞最優秀賞受賞

「マリン・ツーリズム山田」

1月16日、東京都内で第15回「JTB 交流創造賞」の受賞作品の発表が行われ「組織・団体部門」で「マリン・ツーリズム山田」が最優秀賞を受賞しました。この表彰は、JTB が毎年行っているもので、観光振興に対する斬新な取り組みや実際に体験した事例を募集し、選考を行い表彰するものです。受賞した「マリン・ツーリズム山田」の魅力をお知らせします。

漁師が地元の海をまるごと魅せる！

「マリン・ツーリズム山田」

「マリン・ツーリズム山田」は、平成17年に山田湾の7〜8人の漁師たちが子どもたちに養殖漁業を体験してもらいたいと結成。当初は、主に県内・町内の子どもたちに向けて養殖漁業の体験プログラムを行っていました。

23年の震災を境に一度は活動中止を余儀なくされました。養殖漁業のハード面での復興が少しずつ進んだとき「また活動したい」という昆定夫会長の要望

を受け、やまだワンダフル体験ビューロー、山田町観光協会、町水産商工課と協力し、28年夏に新生「マリン・ツーリズム山田」として活動を再開しました。再開後は、県外からも広く観光客を受け入れ「養殖いかだ見学」「無人島・オランダ島上陸」「陸上漁業体験」などの体験プログラムを展開。年を重ね徐々に受入人数は増加し、28年から昨年12月時点で3千人を超えるお客様に楽しんでいただきました。



魅力がいつぱい体験観光

昆さんは平成17年の結成から参加し、現在は会長として活動しています。

今回の表彰を受け「うれしいです」と一言。「『マリン・ツーリズム山田』では、風景だけでなく、養殖漁業の現場を見て漁師と交流してもらえるなど、他にはない体験を提供してる」と昆さんは話します。

おすすめポイントは「いかだからカキを上げるとき」とのこと。カキを上げるときの1年経過したもの、2年経過したものと成長を間近で見れることが魅力と話します。

昆さんは「町内に住んでいる人にも体験してほしい」と話します。「山田の海の魅力をもっと感じてほしい」と笑顔で語りました。



昆定夫さん



中村敏彦さん

中村さんは、体験観光に興味を持ち、知人の紹介で震災以降に「マリン・ツーリズム山田」の活動に参加しています。

表彰については「とてもお客様に喜んで頂いているので、もしかしら受賞できるかも」と、ひそかに思っていました。笑顔で話します。

この活動は「消費者と生産者をつなげる大きな役割」と中村さん。また「お客様の笑顔や漁師ってすごい」などの言葉を聞くことやりがいを感じる」と仕事の活力になつていそうです。

中村さんのおすすめポイントはオプシヨンの「船上で食べるとれたてホタテ」とのこと。海から上げたホタテを、世界一新鮮な状態で味わえることが魅力と話します。

マリン・ツーリズム山田 体験プログラムを紹介

マリン・ツーリズム山田の体験プログラムの例を紹介します。各プログラムを組み合わせたり、試食などができるオプションも人気です。また、今年の夏以降は、シーカヤックやBBQなど、オランダ島でのアクティビティを組み合わせたプログラムも実施予定です。

◎基本の体験プログラム

- ・養殖いかだ見学…漁師の方が漁船で自分の養殖いかだを案内。牡蠣やホタテをどのように育てているのかを実際にロープをあげて解説。
- ・無人島・オランダ島上陸…オランダ島へ漁船で往復。
- ・陸上漁業体験…漁師が実際行っている作業を作業場などで漁師と一緒に体験。

◎主なオプション

- ・船上ホタテの試食…海から上げたのホタテをその場で提供。
- ・漁師の番屋試食…牡蠣・ホタテ・地元ならではの雑員の試食や牡蠣剥き体験。
- ・海中熟成ワインの引き上げ…養殖いかだに吊るしている海中熟成ワイン(山田湾熟ワイン)の引き上げを体験。



4月からプログラムが増え、料金の改定も行います。詳細については「やまだワンダフル体験ビューロー」のパンフレットやホームページ(<http://www.yamada-kankou.jp/wonderful-taiken/>)をご覧ください。

※ホームページからも体験の申し込みができますのでご利用ください。

◆申込先・問い合わせ (一社)山田町観光協会 (☎65-7901) やまだワンダフル体験ビューロー (☎82-3111内線227) へどうぞ。